

佐世保市民の生の声が聞きたい

2020年9月25日（金）

長崎新聞



カトリック神父

水浦 征男(78)

テレビで「ダム予定地に生まれて」というドキュメンタリー番組を見た。今どき、このような人権無視の公共事業が許されるのか、との素直な疑問が残った。

東彼川棚町に計画されている石木ダム建設事業。13世帯の反対住民の気持ちが高いほど分かった。ダム計画は約50年前に始まった。知事はこれまで4代も変わっている。歴代の知事は膝をつき合わせて、じっくりと同町川原地区の人たちと話し合った形跡はない。佐世保市の水不足をお題目に、ひたすら行政の目線で事業を進めてきた。先祖

石木ダム 市民の声聞かせて

代々そこに住み、生活を味わってきた人々の気持ちを大切にすれば、今のような行政と反対住民のいがみ合いは起こらなかつたと思う。

今、佐世保市の市民たちはどう考えるのだろうか。これほどの反対住民を無視しても、なお石木ダムを望んでいるのだろうか。このところ、佐世保市に深刻な水不足が起きているとは聞かない。将来の水不足の解消法はないのだろうか。あるいは、水需要は現在のままで足りないのだろうか。行政側ではなく、佐世保市民の生の意見を聞きたい。石木ダム建設計画は白紙に戻したらどうだろうか。

(長崎市)

「今どき、このような人権無視の公共事業が許されるのか」
「今、佐世保市の市民たちはどう考えるのだろうか」
「行政側ではなく、佐世保市民の生の声を聞きたい」



あなたはごどう思いますか？あなたの声に耳を澄ませしてみませんか？

そして、その声を、

○投稿者に伝えるなら、長崎新聞「声」欄へ投稿。(問い合わせ先095-844-2114)

○長崎県に伝えるなら、ファックス(095-826-5682)

又はインターネットで「県へのご意見・ご提案」へ。

○佐世保市に伝えるなら、郵送(〒857-8585住所不要

「秘書課」宛て)又はファックス(0956-25-2184)か

インターネットで「市へのご意見フォーム」へ。

(チラシ作成)石木川まもり隊

〒857-0834 佐世保市潮見町1-30-1311

☎090-6171-5810(松本方)

email : michi30@hyper.ocn.ne.jp